
議題 基準諮問会議からの報告

項目 第 33 回基準諮問会議（平成 30 年 7 月 23 日開催）に関する報告

平成 30 年 8 月 13 日

企業会計基準委員会

委員長 小野 行雄 殿

基準諮問会議

議長 湯浅 一生

基準諮問会議に関する報告

平成 30 年 7 月 23 日に開催された第 33 回の基準諮問会議に関する報告は、下記のとおりであります。

記

I. テーマ提言について

(1) 新規テーマの提言を行うこととなったテーマ

1. 今回の基準諮問会議において、貴委員会に新規テーマの提言を行うこととなったものはない。

(2) 新規テーマの提言をしないこととなったテーマ

2. 以下の実務対応レベルのテーマについては、実務対応専門委員会の評価の結果を踏まえ基準諮問会議において検討した結果、ASBJ の新規テーマとして提言せず、「過去に審議を行ったが提言に至らなかったテーマ」として記録することとなった（審議事項(1)参考資料 1）。

当初提案	項目
第 25 回	会計制度委員会報告第 14 号「金融商品会計に関する実務指針」における当座貸越契約及び貸出コミットメントに関する規定の改正

3. 基準諮問会議において聞かれた意見については、審議事項(1)参考資料 2 議事要旨をご参照頂きたい。

(3) その他のテーマの検討の状況

4. 以下のテーマに関する検討の状況は、以下のとおりである。

当初提案	項目	対応
第 26 回 第 31 回	「経営者が会計方針を適用する過程で行った判断」及び「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実	「経営者が会計方針を適用する過程で行った判断」及び「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実については、前回の基準諮問会議においてディスクロージャー専門委員会に、国際的な動向も含め開示全体の動向を踏まえ、当該開示を行う場合の具体的な範囲や、当該開示を行った場合の有用性について検討することを依頼した。今回の基準諮問会議では、ディスクロージャー専門委員会の検討状況の中間報告を受けた。
第 32 回	企業結合会計：暫定的な会計処理の確定時における比較年度の財務諸表に関する取扱い（「企業結合に関する会計基準」注 6、第 104-2 項）	実務対応専門委員会に評価依頼中である。

5. 基準諮問会議において聞かれた意見については、審議事項(1)参考資料 2 議事要旨をご参照頂きたい。

II. ASBJ の活動状況について

6. 貴委員会の最近の活動状況に関して基準諮問会議において聞かれた意見については、審議事項(1)参考資料 3 の議事要旨をご参照頂きたい。

以 上